

問1 南アフリカ共和国で長年続いた人種隔離政策（アパルトヘイト）の廃止とその後の経緯について述べた文として、正しいものはどれですか。

（2021年 千葉県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 反アパルトヘイト運動を指導して長年投獄されていたネルソン・マンデラが釈放され、後に同国初の黒人大統領となった。 | 2. 国際連合はこの政策を人道的であると評価し、南アフリカ共和国への経済協力を積極的に進めた。 | 3. 1960年の「アフリカの年」に、多くのアフリカ諸国が独立したことに合わせて、南アフリカでも即座に廃止された。 | 4. 現在は差別が完全に解消されたため、南アフリカ共和国は「虹の国」と呼ばれ、経済的格差も全く存在しない。 |
|--|---|---|---|

問2 西アフリカに位置するナイジェリアの産業や経済的特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。 （2018年 鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 南部の高原地帯で産出されるレアメタルを主要な輸出品とし、ハイテク産業の育成に注力している。 | 2. 地中海に面した立地を活かして、パイプラインを通じたヨーロッパへの天然ガス供給を主としている。 | 3. 特定の農産物の輸出のみに頼るモノカルチャー経済から脱却するため、全土を経済特区に指定している。 | 4. ギニア湾沿岸で採掘される原油の輸出利益を、国内のインフラ整備や国土開発に活用している。 |
|--|---|--|--|

問3 世界地図において、イギリスのロンドンを通る本初子午線よりも東側にあり、かつ赤道が国土を通過している東アフリカの国として正しいものを選びなさい。 （2023年 埼玉県公立入試 類似）

- | | | | |
|---------|--------------|---------|--------|
| 1. メキシコ | 2. ニューージーランド | 3. エジプト | 4. ケニア |
|---------|--------------|---------|--------|

問4 アフリカ大陸の東部に位置し、農産物の生産統計において世界的に高いシェアを占めるエチオピアの産業について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。なお、この農産物の国別生産割合を示した資料では、エチオピアが33.3パーセント、ブラジルが30.8パーセント、ベトナムが17.7パーセントを占めています。 （2026年 群馬県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 天然ゴムの生産が中心であり、タイやインドネシアなどの東南アジア諸国と生産量を競っている。 | 2. コーヒー豆の原産地の一つとされ、現在もその生産が国の経済において重要な役割を果たしている。 | 3. カカオ豆の生産が盛んであり、ギニア湾沿岸の国々とともに世界の主要な供給源となっている。 | 4. 広大な土地を利用した小麦の企業的穀物農業が発達し、世界最大の輸出量を誇っている。 |
|---|--|--|---|

問5 日本との貿易統計において、日本への主な輸出品目として「ブラチナ（白金）」が上位を占めており、鉄鉱石などの鉱産資源の輸出も盛んなアフリカ州の国はどれか。 （2023年 青森県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|------------|--------------|-------------|
| 1. ナイジェリア | 2. オーストラリア | 3. ニューージーランド | 4. 南アフリカ共和国 |
|-----------|------------|--------------|-------------|

問6 通信インフラの統計データにおいて、ケニアでは百人あたりの固定電話契約件数が極めて低水準であるのに対し、携帯電話の契約件数は急激な右肩上がりの推移を示しています。この現象がケニアの社会に与えた影響や状況として正しいものはどれですか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 通信インフラの整備よりも先に高度な工業化が達成されていたため、携帯電話は主に工場内の連絡用として普及した。 | 2. 固定電話のネットワークが先に完成していたため、携帯電話はあくまで補助的な連絡手段として扱われていた。 | 3. 携帯電話のアンテナ整備には莫大な費用がかかるため、通信インフラの普及は都市部の富裕層のみに限定された。 | 4. 銀行の窓口が少ない地域でも、携帯電話の通信網を利用した送金や決済などの金融サービスが普及した。 |
|--|---|--|--|

問7 アフリカ州におけるモノカルチャー経済の実例として、カカオの輸出が国内総輸出額の約半分を占めている統計データがある国はどこですか。 （2020年 大阪府公立入試 類似）

- | | | | |
|------------|-------------|---------|-------------|
| 1. サウジアラビア | 2. 南アフリカ共和国 | 3. エジプト | 4. コートジボワール |
|------------|-------------|---------|-------------|

問8 アフリカ大陸において、緯線や経線に沿った直線的な国境線が引かれたことにより、独立後の各国で発生した社会的な課題として正しいものはどれですか。 （2024年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 国境線が直線であるために、隣国との通行が容易になりすぎた結果、関税の徴収ができず経済的な混乱を招くことになった。 | 2. 一つの民族が複数の国に分断されたり、複数の民族が同一国家内に強制的に共存させられたりしたことによって、民族紛争が起こりやすくなった。 | 3. 自然の地形を無視して国境が定められたため、河川の流域を管理する権利が曖昧になり、すべての国で深刻な水不足が発生した。 | 4. 植民地支配時代の国境線を守るために、アフリカ諸国は独自の言語や文化を捨て、宗主国の文化を完全に受け入れざるを得なくなった。 |
|---|---|---|--|

問9 ウガンダにおける2004年から2018年の米の生産状況について、収穫面積は約9万ヘクタール前後でほぼ横ばいである一方、生産量は約12.1万トンから約24.6万トンへと約2倍に増加しています。このデータから読み取れる、ウガンダの農業における変化として最も適切な説明はどれですか。 （2022年 熊本県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------|
| 1. 米から他の作物への転換が進み、収穫面積が減少した | 2. 収穫面積の大幅な拡大により増産に成功した | 3. 気候変動の影響で、収穫面積あたりの収穫量が減少した | 4. 土地あたりの生産性が向上した |
|-----------------------------|-------------------------|------------------------------|-------------------|

問10 世界の高齢化発生状況に関する統計において、2011年には237件もの発生が確認されていたものの、翌2012年には75件へと激減し、世界全体の発生件数の減少に最も大きく寄与した地域はどこですか。 （2022年 神奈川県公立入試 類似）

- | | | | |
|------------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. マラッカ・シンガポール海峡 | 2. ソマリア周辺海域 | 3. カリブ海周辺海域 | 4. ギニア湾周辺海域 |
|------------------|-------------|-------------|-------------|

問11 南アフリカ共和国でかつて実施されていた「アパルトヘイト（人種隔離政策）」の仕組みとその背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2019年 大分県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 植民地支配から独立する際、アフリカ諸国が団結して共通の通貨を導入しようとした経済協力の仕組み。 | 2. 少数の白人が多数の黒人を支配するために、居住区を分けたり公共施設の利用を制限したりした制度。 | 3. 先進国との公平な貿易を実現するために、発展途上国の製品を適正な価格で継続的に購入する取り組み。 | 4. 特定の農作物の価格変動による経済的打撃を防ぐため、複数の作物を育てるよう義務付けた制度。 |
|--|---|--|---|

問12 コートジボワールのカカオ豆（輸出額の約27%）やガーナの金（約40%）のように、少数の一次産品の輸出に頼る経済構造には、経済運営上の大きなリスクがあります。そのリスクの説明として最も適切なものはどれですか。 （2021年 鳥取県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 特定の作物や資源の生産に特化するため、国内の労働力が不足し、他国から大量の移民を受け入れなければならない。 | 2. 特定の品目の国際価格が暴落したり、天候不順で不作になったりすると、国家の収入が激減し経済が不安定になる。 | 3. 原材料の輸出額が常に工業製品の輸入額を上回るため、常に大幅な貿易黒字となり、他国との貿易摩擦が深刻化する。 | 4. 高度な加工技術が必要とする製品を輸出するため、研究開発費が膨大になり、国の財政を圧迫する要因となる。 |
|--|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 反アパルトヘイト運動を指導して長年投獄されていたネルソン・マンデラが釈放され、後に同国初の黒人大統領となった。	アパルトヘイトは、国際社会からの経済制裁や国内の激しい抵抗運動により、1990年代初頭に廃止されました。1994年には全人種が参加する初の総選挙が行われ、反アパルトヘイト運動の象徴であったネルソン・マンデラが大統領に就任しました。しかし、現在でも当時の政策の名残による経済的格差などの課題は残っています。
問2	答え 4 ギニア湾沿岸で採掘される原油の輸出利益を、国内のインフラ整備や国土開発に活用している。	ナイジェリアはアフリカ有数の原油生産国であり、石油輸出国機構（OPEC）にも加盟しています。同国はギニア湾沿岸の油田から得られる資源収益を背景に、単なる資源輸出にとどまらず、自国の工業化や経済発展のための「国土開発」に投資しています。他のアフリカ諸国で見られる「農産物のモノカルチャー経済」や「レアメタル依存」との違いを理解することが重要です。
問3	答え 4 ケニア	ケニアはアフリカ大陸の東部に位置する国で、赤道が国土を通っています。設問にある他の選択肢のうち、メキシコは北アメリカ大陸、ニュージーランドはオセアニアに位置しており、アフリカ大陸の国ではありません。また、エジプトはアフリカ大陸北部に位置しますが、赤道は通っていません。
問4	答え 2 コーヒー豆の原産地の一つとされ、現在もその生産が国の経済において重要な役割を果たしている。	エチオピアはコーヒー豆の原産地として知られ、現在もアフリカを代表するコーヒー生産国です。問題文にある「ブラジル、ベトナム、エチオピア」という生産分布は、コーヒー豆に特有のもので、カカオ豆はコートジボワールやガーナなどの西アフリカ、天然ゴムはタイやベトナムなどの東南アジアが主な生産地であるため、混同しないように注意が必要です。
問5	答え 4 南アフリカ共和国	南アフリカ共和国はレアメタル（希少金属）の宝庫として知られ、特にブラチナ（白金）の世界的な産出国である。日本への輸出においてもブラチナが大きな割合を占める点が最大の特徴である。選択肢にあるナイジェリアは原油の輸出が中心であり、オーストラリアは石炭や鉄鉱石、天然ガスなどが主力であるため、主要な輸出品目の違いから区別できる。
問6	答え 4 銀行の窓口が少ない地域でも、携帯電話の通信網を利用した送金や決済などの金融サービスが普及した。	固定電話を飛び越えて携帯電話が普及したケニアでは、この通信網を応用したモバイルマネー（エムペサなど）が急速に発展しました。これにより、銀行の店舗やATMが少ない農村部でも、携帯電話一台で安全に送金や支払いができるようになり、経済の活性化に大きく寄与しています。インフラが未整備であることを逆手に取り、最新のデジタル技術が社会の仕組みを支える基盤となっています。
問7	答え 4 コートジボワール	コートジボワールやガーナはギニア湾沿岸に位置し、世界有数のカカオ生産国として知られています。特にコートジボワールは、カカオ豆の輸出に大きく依存するモノカルチャー経済の典型例です。一方、南アフリカ共和国は鉱業や工業が比較的バランスよく発展しており、エジプトは観光業や運河の収入など多様な産業を持っています。
問8	答え 2 一つの民族が複数の国に分断されたり、複数の民族が同一国家内に強制的に共存させられたりしたことで、民族紛争が起こりやすくなった。	ヨーロッパ諸国による植民地支配下で引かれた人為的な国境線は、現地の生活圏を無視したものでした。1960年の「アフリカの年」を中心に多くの国が独立を果たしましたが、国境線を巡る新たな混乱を避けるために、基本的には植民地時代の境界がそのまま国境として引き継がれました。その結果、言語や宗教を共有する民族がバラバラの国に所属したり、歴史的に対立していた民族が同じ国の中で主導権を争ったりすることになり、政情不安や内戦の大きな背景となりました。
問9	答え 4 土地あたりの生産性が向上した	収穫面積が約9万ヘクタール前後でほとんど変わっていない（あるいは微減している）にもかかわらず、生産量が約2倍に増えているということは、同じ面積の土地からより多くの収穫が得られるようになったことを意味します。これは、品種改良や肥料の導入、灌漑施設の整備などの技術革新によって、土地あたりの「生産性」が高まったことを示しています。
問10	答え 2 ソマリア周辺海域	2011年から2012年にかけて、多国籍軍による護衛活動や日本を含む各国による哨戒活動の強化、さらには商船側による自衛策の徹底が行われました。その結果、統計上の数値が237件から75件へと大幅に減少しました。この海域はアデン湾などの主要な航路を含んでいるため、国際物流の安定において極めて重要な変化となりました。
問11	答え 2 少数の白人が多数の黒人を支配するために、居住区を分けたり公共施設の利用を制限したりした制度。	アパルトヘイトは、南アフリカ共和国において少数派の白人が政治・経済の権力を独占し、多数派の黒人やその他の人種を差別・隔離した制度です。この制度下では、人種ごとに住む場所や学校、病院などが厳格に分けられ、参政権も認められませんでした。国際的な批判と国内の反対運動が高まったことで、1990年代初頭に廃止されました。なお、特定の農作物に頼る経済は「モノカルチャー経済」、公平な貿易は「フェアトレード」と呼ばれます。
問12	答え 2 特定の品目の国際価格が暴落したり、天候不順で不作になったりすると、国家の収入が激減し経済が不安定になる。	少数の品目に依存していると、その品目の国際相場の変動や自然災害による収穫量の変化が、直接国の経済全体に大きな打撃を与えてしまいます。この不安定さを解消するために、多くの発展途上国では産業の多角化（工業化など）が課題となっています。